

和楽器の音色聴衆を魅了



「邦楽合奏のための疾風怒濤」を大合奏

三曲研究会 第50回定期演奏会

和楽器を演奏する学生サークルの三曲研究会(丸山敢士代表・経営3)が10月13日、川崎市多摩市民館で50回目の定期演奏会を開いた。三曲は、三味線、尺八の和楽器3種。演奏会では三曲に太鼓、琵琶、篠笛なども加え、1年次生の「八千代獅子」、4年次生の「源氏三綴」、大合奏「邦楽合奏のための疾風怒濤」など古典から現代邦楽まで全12曲を披露。若々しい音色で約400人の聴衆を魅了した。

尺八 O.B.山野さん特別出演

50回を記念して同研究会 黒門祭演奏を終えたあとを指導しプロの演奏家として活躍する上田美恵子さん(箏)、山野明彦さん(尺八、平三絃)が特別出演。住吉三華をそれぞれ演奏した。十七絃を演奏した丸山代表は「定期演奏会は私たちの活動の集大成。今年も5月に曲目を決め、

「ひとつひとつの演奏に厚みが出たと感じています」と丸山代表。部員のほとんどが和楽器未経験でスタートし、仲間と切磋琢磨しながら練習に励んできた。

鈴木涼子さん(文3)は「1年次生から三味線を始めましたが、魅力は弾き方ひとつでまったく異なる音が出る。深みのある音を出すために試行錯誤を重ねてきました。定期演奏会ではその成果が少しでも表れたのではと思います」と言う。三味線のパートリーダーを務めた。

高大連携

付属3高86人が公開模擬裁判

た議論を展開した。傍聴席に座った生徒たちも裁判員になったつもりで判決の行方を見守った。

裁判官、傍聴席の判決とともに無罪。この結果を受け、弁護士が生徒たちの感想や意見を聞きながら今回の争点に答えた。



専修大学付属高校、専修大学北上高校の生徒86人が参加した公開模擬裁判(エクステンションセンター主催、東京弁護士会協力)が11月10日、神田キャンパスの法廷教室で行われた。写真。

附属高校と松戸高校の生徒が裁判官、検察官、弁護士役を、北上高校の生徒が刑務官と廷吏役を担当。東京弁護士会の弁護士の指導を受けながら窃盗事件について白熱した。

検察官役の附属高校の生徒は「裁判の仕組みを知ることができた」と、弁護士の松戸高校の生徒は「貴重な経験ができ、裁判に興味を持つようになった」と感想を話した。



ぶどう狩り 楽しむ

留学生と交流

日本人学生と留学生が交流するバスハイイクが10月14日に行われた。中国、韓国、台湾、ラオス、ベトナム、インドからの留学生18人と日本人学生26人の合わせて4人が参加した。

富士山5合目では、あいにくの雨で霧が深く、富士の頂上を見上げるのができなかったが、付近の美しく色づき始めた紅葉を眺めた。河口湖畔でほうとう鍋を楽しんだ後、山梨県の農園でぶどう狩りをしながら交流を深めた。写真。

キャンパス情報

- 三曲研究会の活動の場は、黒門祭や鳳祭、定期演奏会のほか依頼を受けて小学校や高齢者施設に出向いて演奏する。地域活動にも積極的だ。
- 車いす体験講座
 - ▽日時 12月1日(土) 10時~12時、8日(土) 10時~12時、15時~17時
 - ▽場所 12月1日(土) アイマスク体験講座
 - ▽日時 12月1日(土) 13時30分~15時30分、8日(土) 10時~12時
 - ※両講座とも無料。定員は各回20人
 - ※神田キャンパス13教室集合
- 留学生生活課(神田)窓101、Eメール(ke@sei-u.ac.jp)
 - 11月30日(金)締め切り
 - 留学生生活課(神田)窓03・3265・6824
- 身につけよう!まさかの時の護身術
 - ▽日時 12月7日(金) 12時20分~13時
 - ▽場所 神田キャンパス第3体育室
 - ▽定員 30人
 - 留学生生活課(神田)窓101、Eメール
- 健康講座「カラダについて食事とは?」
 - ▽日時 12月10日(月) 12時20分~13時(昼食持ち込み可)
 - ▽場所 神田キャンパス201教室
 - 講師 神田保健室校医
- 大石由美子氏
 - 留学生生活課(神田)窓101、Eメール
 - 男声合唱団グリーククラブ
 - 第54回定期演奏会
 - ▽日時 12月16日(日) 14~16時
 - ▽場所 国立オリンピック記念青少年総合センター小ホール
 - ▽曲目 斎太郎節、希望の島など。O.B.との合同ステージも。
 - ※申し込み不要。無料
 - 問い合わせ: ka377@gaia.ni.ac.jp (今田)
- ス(神田開講)
 - ▽日時 2019年2月18日(月)~22日(金) 10~16時(休憩1時間)
 - ▽場所 神田キャンパス13教室
 - ▽対象 本学学生、一般。初級者(目標点数450点以上)
 - ▽定員 20人(先着順)
 - ▽受講料 学生2万円、一般2万7000円。別途教材費3000円程度
 - ▽申し込み期間 11月27日(火)~19年1月11日(金)
 - ▽開講 12月4日(火) 12時25分~6日(木) 16時35分、生田キャンパス425教室でガイダンス・体験レッスンを開催
 - 問い合わせ: 神田センター事務課(神田)窓03・3265・620
- 春期集中コース初級クラス(生田開講)
 - ▽日時 19年2月25日(月)~3月1日(金) 10~16時(休憩1時間)
 - ▽場所 後日告知
 - ▽対象 本学学生、一般。中級者(目標点数50点以上)
 - ▽定員 20人(先着順)
 - ▽受講料 学生2万円、一般2万7000円。別途教材費3000円程度
 - ▽申し込み期間 12月4日(火)~19年1月11日(金)
 - ▽開講 12月4日(火) 12時25分~6日(木) 16時35分、生田キャンパス425教室でガイダンス・体験レッスンを開催
 - 問い合わせ: 生田センター事務課(生田)窓044・911・1268

心臓が拍動し心室から血液が駆出されると大動脈の伸展と収縮が繰り返され、動脈の拍動が生じます。この動脈拍動のことを脈拍と言います。

古くから脈を診ることは、基本的な診察法として重要視されてきました。五感を使った診察法の代表的なものであり、漢方医学では脈診という診察法もあります。

脈拍を触知、観察する部位としては、頸動脈、橈骨動脈(手首の親指側の動脈)、大腿動脈などいくつかの動脈がありますが、通常脈拍数を診るだけ

でもある程度身体の状態が推測できます。例えば体温が1度上がるごとに脈拍数は8~10増加しますし、熱中症のときの脱水状態でも脈は速くなります。

逆にめまいや意識が消失するような状況のとき、徐脈となつていくかどうかは重要な所見です。これに加えて脈の整、不整も重要です。最終的には心電図検査が必要となりますが、何か症状のあるとき、脈拍測定は診断の有力な情報となります。脈拍の測定は慣れないとなかなかできません。日ごろから自分の脈拍を触れてみる練習をしてみてください。(校医・信岡祐彦)

健康フラッシュ

指と中指、薬指の3本の指を用いて行い、脈拍数、整、不整、緊張度などに注意します。脈拍数は正常では1分間に60~80回程度で、1分間に100を超えているものを頻脈、50以下ものを徐脈と言います。脈拍数を診るだけ

SMBC

SMBCグループ

確実にやるのはどこでもできる。確実に速くやるからこそ「価値」になる。

三井住友銀行

MIZUHO

みずほ銀行

One MIZUHO

〈みずほ〉は、ひとりひとりのお客さまに寄り添った解決策をご提案します。

東京2020ゴールド銀行パートナー

One MIZUHO

●ご相談は、お近くのみずほ銀行へ。